

麦の生育と管理

令和2年2月号

北部振興局集落営農・農地活用第一班

今後の天候予報（気象庁より）

気象庁によると今後の予報では「気温は平年並または高くなる」「降水量は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い」と予報されています。

→ 麦踏み・土入れの回数を増やしましょう！

排水溝等を補修し排水性の向上を目指しましょう！

◎麦踏みと土入れ

麦踏みと土入れは、右の図に記載されているとおりの様々な効果があります。

過湿土壌で麦踏みをする、根にストレスがかかります。圃場が乾いているときに（湿田では軽めに）行いましょう。

土入れでは、土をかけ過ぎると生育抑制が強くなりすぎて減収します。多湿圃場での土入れはやめましょう。

麦踏みと土入れの効果

麦踏み



- 分げつ促進
- 茎立ちを遅らせる
- 穂揃い良化
- 凍霜害防止

土入れ



- 倒伏防止
- 雑草の抑制
- 排水改善
- 幼穂保護

作業	作業時期	作業回数	注意事項
麦踏み	3葉期～茎立期	3～4回	• 土壌表面が白く乾き、ローラーに土が張り付かない時に実施する。
土入れ	4葉期～茎立期	2～3回	• 作業は土が乾いたときに実施し、土のかけすぎに注意する。

◎降雨対策

写真のように四隅をつなげて排水性を向上させましょう。

排水性を良くすることで、中間管理を適期に行うことができます。



裏面へ

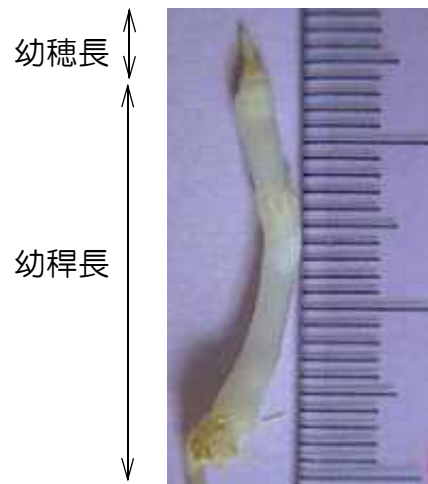
◎穂肥で粒数を確保しよう！

穂肥には無効分げつを減らし、子実重を増やす効果があります。

収量アップのために、必ず穂肥を施用しましょう。

下の表を参考に施肥を行ってください。

	穂肥	
	窒素量	施用時期
小麦 (チクゴイスミ・農林61号) 裸麦	3	茎立期 (幼穂長 2 cm 頃)
小麦 [醤油・パン用] (ミナミノカオリ)	5	
大麦	2	



(幼穂長：約3mm 幼穂長：約20mm の画像)

◎雑草対策

暖冬年では雑草の発生も早まります。

雑草の種類と発生状況を観察し、適期に適切な除草剤で防除しましょう。

雑草が繁茂すると収量や品質の低下を招きます。特に、カラスノエンドウの種子は選別機で取り除くことが難しいので除草を徹底しましょう。

生育期除草剤

	ハーモニー水和剤	アクチノール乳剤	バサグラン液剤
スズメノテッポウ	5葉期まで 注1)	×	×
カズノコグサ	3葉期まで	×	×
ヤエムグラ	4節期まで	4節期まで	6葉期まで
カラスノエンドウ	×	3葉期まで	6葉期まで
タデ類	生育初期のみ効果あり	生育初期のみ効果あり	生育初期のみ効果あり
使用時期	麦1葉期～節間伸長前 注2)	穂ばらみ期まで	小麦収穫45日前まで 大麦収穫90日前まで
使用量	5～10 g / 10a	100～200ml/10a	100～200ml/10a

注1) 抵抗性スズメノテッポウには効果なし。

注2) 小麦の一年生広葉雑草のみ、節間伸長開始期～穂ばらみ期（但し収穫45日前まで）使用量3～5 g / 10aで適用拡大。

※薬剤ごとに使用時期、使用回数が異なります。ラベル等をよく読み使用しましょう。